

行政評価委員会開催結果報告書

平成24年5月24日

会議の名称	平成24年度第1回石狩市行政評価委員会
開催日時	平成24年4月18日(水)10時00分~11時10分
開催場所	石狩市役所3階 庁議室
出席委員	松井委員長 長谷部副委員長 堀内委員 堀委員 岩崎委員 (計 5名)
欠席委員	 (計 0名)
説明員職氏名	 (計 0名)
傍聴者	 (計 1名)
議題等	1 議題 (1)平成24年度の外部評価について(スケジュール等) (2)評価対象施策の選定 2 その他(次回の評価施策、日程確認等)
結果	平成24年度の外部評価について、事務局から資料に基づき説明を行った後、今年度の外部評価対象施策の選定を行った。 (次回開催日程) 第2回 平成24年5月16日(水)13:30~ 於:庁議室
事務局職員	企画経済部 加藤部長、松田企画課長、佐々木主査、青木主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会（10：00）

2 挨拶 加藤企画経済部長

3 議事

(1) 平成 24 年度の外部評価について（スケジュール等）

【資料に基づき説明】事務局：佐々木

説明資料： 「平成 24 年度の外部評価について」

別紙「担当部局ヒアリングの実施について（第 2 回～第 9 回委員会）」

施策評価シート（様式）

事業評価シート（様式）

【質疑応答、意見交換】（ は委員発言要旨、・ は事務局発言要旨）

事業評価シートの「課長評価（1次）」欄の「有効性」「効率性」「妥当性」評価の基準は、評価者の感覚での評価となってしまうのではないかと。

・基準については、資料「担当部局ヒアリングの実施について（第 2 回～第 9 回委員会）」の裏面を参照していただきたい。

・この部分は、担当課長による 1 次評価・自己評価であり、評価者の主観的評価であるが、パブリックコメントや当委員会の外部評価などを経て、最終評価に向けて客観性が高まって行くものと考えている。

・また、今年の施策評価シートでは、担当部長が施策のどこをポイントに改善を考えているのかを明確にすることで、評価の絞り込みを図ることとしている。

事業評価シートの「今後の方向性」欄の「拡充」「手法改善」「縮小・統合」「継続・維持」「休止・廃止」のルールは、庁内で統一した基準はあるのか。

・前述の「有効性」等の判断基準と同様である。最終判断は、行政評価会議による最終評価となる。今年度の外部評価対象施策は 4 施策程度として、精度を高めたいということだが。

・その通りである。なお、施策によってはぶら下がっている事業数が多いものもあり、その辺りを踏まえた施策選定をお願いする。

(2) 評価対象施策の選定

【配布資料の説明】事務局：佐々木

説明資料：「平成 22 年度施策一覧表」

・事前に取りまとめた、各委員の選定希望を説明。

【協議】（ は委員発言要旨、・ は事務局発言要旨）

高齢社会で身近に空き家が目立ってきている。また、新港地域の就業者を石狩に誘導するような住宅環境整備など、市の住宅施策の検証はどうか。

その他、石狩の人口をどうやって維持・増加して行くかという観点で、雇用・勤労者対策や学校教育などの環境づくりについて施策評価してはどうかと思っている。

テーマ2「健康でしあわせに暮らすまち」の中で、「障がい者福祉」「地域福祉」「社会保障の充実」は、戦略計画の目標数値に対する現状から、検討する必要があるのではないか。

前期に評価していない施策、また、前期の早い時期（H19、H20）に評価した施策を今回対象にしてはどうか。

学校教育では市の独自性がある部分、農林水産業では6次産業化や新港地域との関わりなどについて議論できれば良いかと思う。

今回は、ハードではなくソフト面の施策評価を多くしてはどうか。

行政サイドの緊急性を考慮して選んでは。

今、電力事情が厳しくなっている。LNG発電所をはじめとする新港地域の開発、林業や水産、環境、自然エネルギーなどについて議論してはどうか。

・エネルギー施策全般の議論となると、総合計画では複数の施策にまたがって検証する必要がある。
・また、この4月からは新しく庁内にエネルギー施策を担当するセクションができたところ。次年度以降に検討してはどうか。

「3つの原則」は、まちづくり全般に共通する理念の施策であり、今年の外部評価をすべてこの中から選ぶという訳にはいかないと思う。実体的な政策に関する評価がなくなってしまう。

「5つのテーマ」と「3つの原則」の中から、それぞれ選んではどうか。

「3つの原則」では、各委員の希望が多かった「一人ひとりが主人公」の中から、「まちづくりへの市民参画・協働」と「情報公開と情報共有の推進」はどうか。

原則「個性ある地域の発展」とは具体的に何か。

・旧石狩市内ばかりでなく、特に厚田・浜益をイメージしたもの。地域自治区の話も関係してくるが、その部分は今年から別テーブルで議論を始めて行く予定である。

「5つのテーマ」からは、2名から希望があった「学校教育の充実」、テーマ2「健康でしあわせに暮らすまち」の福祉系の枠の中から一つ、「地域福祉の充実」はどうか。

「まちづくりへの市民参画・協働」と「情報公開と情報共有の推進」を選定すると、原則「一人ひとりが主人公」の枠の中では残り1施策のみとなるので、「男女共同参画の推進と人権の尊重」も加えてはどうか。

次のとおり、今年度の外部評価施策を決定する。

【平成24年度外部評価施策】

テーマ2「健康でしあわせに暮らすまち」(2)地域福祉の充実	…保健福祉部
テーマ5「心豊かに学びいきいきと活動するまち」(2)学校教育の充実	…生涯学習部
原則2「一人ひとりが主人公」(1)まちづくりへの市民参画・協働	…企画経済部
原則2「一人ひとりが主人公」(2)情報公開と情報共有の推進	…市長政策室
原則2「一人ひとりが主人公」(3)男女共同参画の推進と人権の尊重	…企画経済部

3 その他

・一つ目の評価対象施策は、企画経済部所管の「まちづくりへの市民参画・協働」と「男女共同参画の推進と人権の尊重」とすることを確認。

・次回（第2回）委員会では担当部局ヒアリングを行うこととし、5月16日（金）13：30から開催することを確認。

4 閉会（11：10）

平成24年6月1日 議事録確定

石狩市行政評価委員会 委員長 松井 義孝